

〔道中秘書二〕脇往還ニ而駄賃之懸札不相成事

明和九辰年九月安藤彈正少弼○勘定掛奉行

伊奈半左衛門○關東郡代出

一下總國釋迦村人馬賃錢掛札之儀ニ付伺

書面釋迦村脇往還之繼場ニ付、駄賃之懸札ハ容易に難成候間、其旨申渡證文取之可被差出候、

以上、

辰九月

〔道中秘書五〕山崎通旅行之義、願之上ニ無之候而是不相成事、

中國四國九州より參勤交替之面々、前々は伏見、淀、枚方、守口、大坂、尼ヶ崎、西宮、兵庫と通行有之候處、淀より山崎道江掛り尼ヶ崎江出被致旅行候面々多有之由然處、山崎通之義は脇道之繼場故、人馬も少く、雇人馬等繼合いたし候故、自耕作も怠り候様相成、及困窮候趣度々申立候、脇道通行相成候而は、本海道之詮も無之事ニ候間、向後可成丈東海道旅行可有之候、若勝手を以、山崎通旅行候とも、右は脇道之事に候條、人馬繼合差支之義可有之間、可被得其意候、右之趣、可被相觸候、

閏十二月 安永四年

中國四國九州より參勤交替之面々、近來山崎通旅行多相成候、右筋村方及困窮候ニ付、向後可成丈本道旅行可有之候、若勝手を以、山崎通旅行候とも、脇道之事ニ候條、人馬繼合差支之義可有之旨、先達而相觸候、向後萬一勝手を以、山崎通旅行有之度、面々は木曾路同様、相願候上旅行可有之候、

右之趣、可被相達候、

五月 安永五年